

AGHトヨタ労働組合 第2期 第1回評議委員会

日 時 : 2025年10月10日(水) 18:15～19:15予定

場 所 : 【P会議室】本社2F-ホールと Zoom

出席者 : 執行委員と支部役員

NO	議 題	担当
1	人事異動に伴う支部役員の変更について	軍司
2	各種会議体の出欠報告一覧について	軍司
3	25秋の取り組み 方針案	内田
4	今後のスケジュール	軍司
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		

<直近スケジュール>

10/15 : #2_中央委員会&ブロック分科会

10/22～ : 職場オルグ開始

11/28 : #3_中央委員会&ブロック分科会 (11/21 : 出欠報告締め切り) →



NO	旧支部名	新支部名	#1_支部会_報告	#1_評議委員会_出欠	#2_中央委員会_出欠	支部長	副支部長
101	南九条店	南9条	×	○	○	佐藤 大貴	グエン ティンミン
102	藤野店	藤野	○	○	○	佐々木 柊馬	江刺家 勇人
103	JQ藻岩	南30条	○	○	○	工藤 克麻	萬屋 健太
104	札幌店	札幌店	○	○	○	山本 剛史	内田 龍二
105	山鼻店	山鼻	○	○	○	羽下 淳人	田村 潤
106	藻岩店	藻岩	○	○	○	越野 修太	西川 佳奈男
107	JQ新琴似	新琴似7条	○	○	○	田村 和義	田中 健太
108	JQ西	西町	○	○	○	藤山 孝	藤吉瞭太
109	JQ花川	花川	○	○	○	奈良 康平	佐藤 航洋
110	二十四軒店	二十四軒	○	○	○	須貝 咲良	村田 陵太
111	八軒店	八軒	○	○	○	倉内 優	井向 史也
112	琴似店	琴似	○	○	○	佐藤 りの	金井 裕生
113	発寒店	発寒	×	×	×	菅原 好平	小笠原 皐太
114	新琴似店	新琴似	×	○	×	鎌田 省吾	山岡 一翔
115	手稲	手稲	×	○	×	立寄 由祐	小林 健太/早川 孝幸
116	JQ百合が原	百合が原	×	○	×	後藤 光	柳原 峻大
117	篠路4条店	石狩街道	○	○	○	及川 司	高野 将綺
118	JQ東苗穂	苗穂	○	○	○	佐々木 健悟	石塚 悠斗
119	JQ美香保	美香保	○	○	○	酒井 秀忠	荻 龍
120	元町店	元町	○	○	○	三井 貴将	和田 紫苑
121	北店	北32条	○	○	○	浅賀 哲二	中村 彰太
122	東苗穂店	東苗穂	×	×	○	高梨 幸	坂東 瞳
123	篠路店	篠路	×	×	×	巴 貴典	山田 雅也
124	D豊平	D豊平	○	○	○	井谷 仁美	糺屋 晴斗
125	本店	本店	○	○	○	三浦 友	道貝 拓
126	JQ白石	白石本通	○	○	○	佐々木 要	石黒 純一郎
127	JQ清田	清田	×	○	○	永田 洋海	富田 陸
128	JQ澄川	澄川	○	○	○	小田島 剛	岩佐 梨花
129	月寒店	月寒	○	○	○	加藤 良空	長谷川 清哉
130	美しが丘店	美しが丘	○	○	○	山口 翔平	池田 孝司
131	白石店	白石中央	○	○	○	山本 琢郎	鎌田 悠介
132	JQ南郷通	南郷通	○	○	○	五十嵐 愛香寧	松井 一
133	北広島店	北広島	○	○	○	山口 和記	田中 拓夢
134	店名変更な	厚別通	×	×	×	小泉 圭太	佐々木 楓馬
135	厚別店	厚別	○	○	○	二宮 正則	中村 直希
136	北郷店	北郷	○	○	×	吉田 秀樹	遠藤 竣平
137	江別	江別	○	○	○	岩崎 英彦	佐賀 大樹/佐々木 海

NO	旧支部名	新支部名	#1_支部会_報告	#1_評議委員会_出欠	#2_中央委員会_出欠	支部長	副支部長
138	JQ恵庭	恵庭北	×	×	×	木村 洸揮	石川 義明
139	JQ千歳	千歳	×	×	×	大西 慧	成田 雄登
140	恵庭店	恵庭南	○	○	○	佐藤 浩史	篠原 光輝
141	千歳店	千歳青葉	×	○	○	岡崎 勇太	山崎 健史
142	澄川店	苫小牧西	×	○	×	神野 竜也	吉田 共生
143	苫小牧店	苫小牧東	×	×	×	前北 晃宏	岩崎 篤志
144	富川店	富川	×	×	×	花田 優太	佐々木 豪
145	小樽	小樽	○	○	○	岩淵 佑太	本間 雄大/田中 快斗
146	余市店	余市	○	○	○	山本 龍太	永田 将吾
147	倶知安	倶知安	○	○	○	齋藤 義博	阿部 和美
148	岩内	岩内	×	○	○	須貝 大輔	山口 啓太
149	室蘭店	室蘭	×	○	○	田仲 海翔	佐藤 孝則
150	伊達店	伊達	○	○	○	熊倉 汰月弥	水間 幸広
151	JQ岩見沢	岩見沢	○	○	○	坂本 啓輔	宮嶋 卓
152	滝川店	滝川	×	○	○	斎藤 紀昭	津坂 雄也
153	由仁店	由仁	○	○	○	中村 輝希	藤原 翔
154	美唄店	美唄	×	○	○	佐藤 敦士	釣本 伸司
155	芦別店	芦別	×	×	×	長尾 真征	高橋 秀幸
156	岩見沢店	岩見沢4条通	○	×	○	千葉 大地	奥山 裕貴
157	滝川黄金店	滝川黄金	○	○	○	佐藤 寛規	小沢 麻美
158	レクサス藻	レクサス藻岩	○	○	○	石川 裕太郎	天野 瑞季
159	レクサス苫	レクサス苫小牧	○	○	○	澁谷 悠	森 貴浩
160	レクサス月	レクサス月寒	○	○	○	谷藤 大地	野村 雄治
161	美園	美園	○	○	○	進藤 智春	福澤 潤/岡部 祐香里/金野 貴幸
162	福住	福住	○	×	×	山内 翼	橋本 裕章/井上 昌弘/遠山 友梨
163	店舗支援部	店舗支援部	○	○	○	矢野 允義	堀川 貴行
164	北二条HMC	北二条HMC	○	○	○	矢嶋 一彦	木戸 健斗
165	宮の沢HMC	宮の沢HMC	○	○	○	松井 智也	館 啓市
166	東苗穂HC	東苗穂HC	○	○	○	砂子田 亘	下口 涼太
167	平岸オフィ	平岸オフィス	○	○	○	鳴海 大吉	小倉 巧也
168	TC北広島	TC北広島	×	×	×	岸田 安弘	柳 慎太郎
169	TC石狩	TC石狩	○	○	×	中塚 隆斗	北本 雄一
170	TC大曲	TC大曲	×	○	○	内浦 雄太	村松 裕太
171	苫小牧物流	苫小牧物流	○	○	○	岩村 創	工藤 純
172	恵庭物流	恵庭物流	×	×	○	佐藤 隆太	佐藤 翔吾
173	美原店	美原	○	○	○	吉田 悠太	高橋 侑也
174	駅SiDe店	駅SiDe	○	○	×	佐々木 孟志	鈴木 渚紗

NO	旧支部名	新支部名	#1_支部会_報告	#1_評議委員会_出欠	#2_中央委員会_出欠	支部長	副支部長
175	新道石川店	石川	○	○	○	池田 海登	三上 直樹
176	七重浜店	七重浜	○	○	○	手塚 光	工藤 極
177	八雲店	八雲	○	×	×	岡田 保	木村 航
178	江差店	江差	○	○	×	木村 悟史	相馬 翔平
179	函館	函館	○	○	○	木村 悟志	廣部 真冬
180	石川物流	石川物流	○	○	○	河合 健人	畑中 一希
181	中央エリア	中央エリア	×	○	○	池田 祥幸	大岩 弘幸/阿川 太一
182	南エリア	南エリア	○	○	○	齊藤 雄馬	玉山 成美
183	東エリア	東エリア	○	○	○	塚田 有紀子	濱道 守
184	千歳エリア	千歳エリア	○	○	○	羽田野 良太	齊藤 薫
185	胆振エリア	胆振エリア	○	○	○	田中 涼太郎	横井 幸治
186	空知エリア	空知エリア	○	○	○	磯部 亮介	佐藤 汰一
187	後志エリア	後志エリア	○	○	○	藤澤 怜司	笹原 祥孝
188	レンタル本	レンタル本社	○	○	○	齊藤 慎司	

25秋の取り組み 方針（案）

<取り組みスケジュール>

9/19(金) 中央委員会 要求案提案

～9/25(金) 支部会 支部内で共有・議論

10/10(水) 評議委員会 要求案決定

10/15(水) 要求書提出

事務折衝（複数回）

11/28(金) 会社回答、中央委員会 回答内容共有・組合判断提示

0. 25秋の取り組みの位置付け

これまでの秋の取り組み

要求書提出～回答の約1ヵ月で議論し結論を出す

スケジュール感を持って協議ができる一方で、十分な議論にいたらないケースもあった

25秋の取り組みの進め方

内容によって、年間を通じた議論・改善活動を行う項目を設定

時間を掛けた十分な議論や、継続的な取り組み推進、秋取りを待たないタイムリーな改善を可能にしたい

加えて、

組合員の優先度の高い内容については、期間を定めて集中的な議論し、労使で答えを出していく

内容に応じて、最適な方法で議論を進展させていきたい

1. 24秋の取り組みの振り返り

一人ひとりがイキイキと働き続けられる魅力ある職場づくりの取り組み

職場課題解決に向けた取り組み

<要求>

AGH全体の離職者情報を共有し実態把握、対策検討のしくみづくりを行う。

<回答>

4月一社化を見据え、労使で具体的な仕組みづくりの検討を進める

- ・ 企業魅力を高めていくことが重要。
- ・ 職場風土が離職者減少、人財の定着につながる。
- ・ 離職者情報の共有だけでなく、具体的なしくみづくりを進めてく。
- ・ 従業員を再雇用する制度の構築についても検討を進めていく。

<要求>

労使双方が参加し課題解決や未来像について議論できる、労使プロジェクト設置

<回答>

意義・目的を議論したうえで、設置の必要性について継続協議する

- ・ 職場単位で生産性向上など短期的かつ速効性のある取り組みも並行が必要。
- ・ 提案テーマは組合内で議論し、労使協議会などでの提言をお願いしたい。

<要求>

改正育児・介護休業法への対応を含めた社内のしくみづくりを進める。

<回答>

一社化に向けた新就業規則・規程策定と合わせて社内周知徹底を図っていく

- ・ 社内制度の見直しと情報発信により不安軽減と職場理解を促進。
- ・ 女性特有の健康課題への理解も進め、誰もが働きやすい環境を目指す。

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み

<要求>

年間所定労働時間は、1937.5時間とする。

2025年度の所定休日は120日とする。

<回答>

25年度の年間所定労働時間は1960時間とする（24年度から22.5時間増）

日当り所定労働時間を8時間とする（24年度から15分増）

25年度の年間所定休日は120日とする（24年度から5日増）

- ・ 採用競争力強化のため、年間所定休日120日への変更。
- ・ 全国万分比で大きく遅れを取っている状況。
- ・ 営業スタッフ時間創出施策有効に機能しているとは言い難い。
- ・ 営業時間15分延長（約2.8日分）を担保とし、収益減少を最小限に。
- ・ 所定休日数+有給取得実績は、全国販売店内でもトップ水準。
- ・ 2025年度は、新会社の足場づくり。
- ・ 1年間で目途付けし2026年度からは年間所定休日数を増加に踏み切れるよう、労使でこの難局を乗り越えていこう。

1. 24秋の取り組みの振り返り

より良い職場風土の実現に向けた取り組み

<要求>

休憩時間1時間確保に向けた取り組みを進める。

<回答>

確実な休憩時間（1時間）の取得に向けた会社発信を行い、労務管理の徹底を図る

- ・ 休憩未取得の職場課題を再認識した。
- ・ 会社として早急に対応しなければならない。

<要求>

災害時、社員を守るためのしくみづくりを行う。

<回答>

大型台風接近や大雪警報発令時などの対応基準の策定を行う

- ・ 警報級のものに対する対応基準は設定されていない。
- ・ 労使で適切な行動がとれるルール策定、しくみをつくっていきたい。

1. 24秋の取り組みの振り返り

回答後の組合員の声

「子どもと過ごせる時間が増える」

「家族で旅行の予定が立てやすくなる」

「昼休み」について会社が目を向けてくれてありがたい

多くの喜びの声があった。

一方で、

◆ 回答後の進展が「ない」項目が多数ある

→ 早急な対応が必要

さらに、

◆ 現状維持では「後退」となる

→ “改善後” は “改善前” との考え方をもち、次へのステップを進めていく

2. 取り巻く環境

労働力人口

2040年には労働人口が、現在から14%「減少」

AGH全体で“離職者”が「後を絶たない」状況

トヨタ販売店で“女性比率”や“外国籍労働者”が「増加」

年間休日

CND平均は「115.6日」、120日以上は44組合

日曜休日を設定する販売店が「増加傾向」

2025年に年間所定労働時間が伸びたのは、AGHを含め「全国9組合」

職場環境

サービス工場のエアコン設置が、北海道内の販売店でも「あたりまえ」に

ハラスメントやコンプライアンスへの世間の目は、さらに「厳しく」なっている

3. 25秋の取り組み方針

スローガン

AGHで働くすべての人たちが、「明日も頑張ろう」と思える会社をつくる

取り組みに向けた想い

AGHで働くすべての仲間が、毎日をこれまで以上に高いモチベーションで、そして愉しく働ける職場をつくっていききたい。

その実現によって、仕事へのやりがいや生産性を高め、持続的な成長を重ねながら、「街一番のくるま屋」を全員で築き上げていきます。

さらに、採用力の強化や人材の定着、多様な人材が長く活躍できる場を目指し、社員一人ひとりが主体的に考え、行動し、自ら会社をつくり上げていける。

そんな環境と仕組みを求め、提案・議論していきます。

3. 25秋の取り組み方針

要求根拠

採用で「負けない」、社員の離職を「防ぐ」

- ・若年時を中心にワークライフバランスを重視する声が多い
- ・採用市場で、まずは「目に留まる」ことが必要
- ・定着率の低さは、企業や社員の成長を阻害する要因
- ・採用環境と在職者双方が魅力を感じる環境が必要

誰もがもっと活躍できるプラットフォームを実現する

- ・多様な価値観を受け止め、一人ひとりの「個」の魅力を最大限に活かす
- ・「ガマン」が当たり前になっていることに目を向ける

労使相互信頼の基盤を強化する

- ・会社と組合員の相互の責任や役割を「深く」議論する
- ・「安全・安心」に働ける環境があって、初めて100%の力を発揮できる

3. 25秋の取り組み方針

要求項目

採用で「負けない」、社員の離職を「防ぐ」ことに向けて

総労働時間の短縮によるワークライフバランス実現に向けた取り組み

- ・ 将来的な休日126日実現を労使の共通目標とし、実現に向けた議論を開始する
更なる休日増により「魅力度を高める」ことを目指し、労使のキックオフを実施する
具体的には、①実現達成年度の目標設定、②生産性の向上に向けて年間を通じた議論の場の設置

誰もがもっと活躍できるプラットフォームを目指し

組合員の「声」を基にした社内ルール改定の取り組み

- ・ 新フレックス制度のコアタイムを9:15（店舗開店時間）からに変更
始業時間を8:45とした結果、朝の子供の送迎と出勤時間の両立が難しいという声が増加
対象者に対してフレックスタイムのコアタイムを変更することで両立支援を行う（または時差出勤）
- ・ 許可制の在宅ワークの導入
子の看護・介護等で出社が難しい状況でも、在宅であれば仕事ができるという声に対応する
- ・ 公共交通機関での通勤が困難となる場合の駐車場代を免除する
具体例）RSS新千歳空港すずらん店（早番）、ATSテクノセンター石狩（土曜日バスなし）
- ・ 従業員の「ありたい姿」を把握する為、労使共有の場を設置する
離職者及び離職予備軍を「ありたい姿」を実現出来なかった従業員と想定し、月1回のMTを通じて離職者情報の積み上げと予備軍の把握、よりそいを行い、従業員が「ありたい姿」を実現する為に必要な取り組みを協議していく

3. 25秋の取り組み方針

要求項目

労使相互信頼の基盤強化に向けて

健全な労使関係に向けた取り組み

- ・ 2026年4月の労働協約制定に向けた議論を開始する
労使間で確認したルールを明文化し、協約として取り交わすことにより、双方にとって安定的かつ透明性のある健全な労使関係を維持していく
- ・ 中央安全衛生委員会を設置し毎月開催する
現状は法基準で50人以上の事業場のみで実施しているが、従業員の「安全は何よりも優先」との考えの基、全社の安全衛生の維持と、注意喚起を行う機関としての設置を求める
- ・ 休憩1時間取得に向けた、具体的取り組みを開始する
昨年の回答以降の実態把握と、ハード、ソフト両面の対策立案と実行
- ・ 災害時の対応基準を策定する
適切な行動がとれるルール策定、しくみづくりについて時期を定めて実装していく